



新型コロナウイルス感染、収束まだ… 感染予防 基本しっかり

10月12日に弘前保健所管内で、新型コロナウイルス感染者が発生してから2週間。

病院・飲食店のクラスターの発生により感染者が増え、10月25日（日）現在、弘前管内クラスターで発生した感染者は138人、青森県内累計178人となっています。

弘前市内では様々なところからも感染者が発生しており、報道によると2次感染・3次感染の可能性も否定できないとの事で、ますます注意が必要な状況です。

そんな中、私たちに出来ることは何か？

感染症学などを専門とする弘前医療福祉大学の中根明夫教授は「マスクの着用や手洗いなど、基本的な感染予防対策を徹底していく必要がある」と強調されています。（10月24日東奥日報）

「マスク着用の徹底」

「手指消毒の徹底」

「換気の徹底」

以上の3徹底をきちんと行ってください。（教室にも掲示しています）

いつどこで感染しているのかわからないため、不要不急の外出を避け、どんな状況でも自分の行動を確認出来るよう、行動の記録（個人の健康観察票）をつけておきましょう。

また、感染の可能性がある場合には、隠さず必要な場所へ相談してください。（電話番号は裏）

心の感染症にもご注意を！

COVID-19
発熱
のどの痛み
咳
倦怠感

かかったらどうしよう
こわい
不安

マジで!? やばっ!
...らしいよ?

生物学的「感染症」

心理学的「感染症」

社会的「感染症」

未知のウイルスへの不安や恐怖は、嫌悪・偏見・差別につながりやすいのです…

10月22日に青森県知事からのメッセージがありました。

「感染者・関係者に対する偏見・差別、誹謗中傷はやめましょう」

当事者を傷つけることは許されることではありません。感染を責める風潮が広がると必要な検査や治療を控えるといった弊害も考えられ、結果としてさらに感染を拡大させることにつながります。誰もが感染する可能性があることを理解して行動しましょう。